



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

東

上場会社名 株式会社ランシステム 上場取引所 東  
コード番号 3326 URL <https://www.runsystem.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 面高 英雄 TEL 045-594-6411  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,356	△0.1	132	13.1	105	△4.4	111	59.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 111百万円( 59.5%) 2025年3月期第3四半期 69百万円( 684.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 26.25	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	16.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 3,807	百万円 331	% 8.7	円 銭 77.98
2025年3月期	3,798	219	5.8	51.73

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 331百万円 2025年3月期 219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 5,800	% 7.2	百万円 170	% 35.1	百万円 130	% 16.0	百万円 120	% 175.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	4,380,900株	2025年3月期	4,380,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	130,490株	2025年3月期	130,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	4,250,410株	2025年3月期3Q	4,250,410株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇や不安定な国際情勢など、先行き不透明な状況が続いておりますが、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。サービス業・アミューズメント業界においても、物価高や光熱費等のコスト上昇の影響はあるものの、人流回復に伴う緩やかな回復基調が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「コスト最適化」「チームの再構築・人財強化」に注力し、既存の主力事業であるエンターテインメント事業ではサービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、顧客満足度向上の為の店舗改裝、お客様目線での店舗別サービス提供を現場スタッフ主導ですすめているほか、システム事業におけるチームの再構築、人財強化を行い、新規取引先を拡大していくための新規商材開発・営業強化等に努めて参りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,356百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益132百万円(前年同期比13.1%増)、経常利益105百万円(前年同期比4.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益111百万円(前年同期比59.5%増)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### <エンターテインメント事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、安心安全健全な運営を行っております。店内設備においては、お客様のニーズの高いコンテンツの積極的な導入を進めております。また、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務も行っております。その他、自遊空間店舗で利用している商材の外部への販売や店舗を利用した広告掲出、社員研修・スタッフ研修の外部への販売、バーチャル関連の新規事業開発を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末時点では、グループ店舗数80店舗(直営店舗33、FC加盟店舗47)となり、当セグメント全体の売上高は2,349百万円(前年同期比4.0%減)、セグメント利益は196百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

#### <システム事業>

当事業につきましては、注目度の高いセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステムなどの各種システムの販売及び保守、管理業務を行っているほか、新しい商材の開発や新規顧客開拓も進めております。また、当社の親会社であるAOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗へのセルフ化システム、PC関連部材等の導入を進めております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は1,943百万円(前年同期比5.0%増)、セグメント利益は135百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

#### <不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、おおむね計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は63百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益は40百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円減少しました。これは主にその他に含まれる仮払金が11百万円増加した一方、現金及び預金が170百万円、売掛金が30百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は2,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物が56百万円、ソフトウェア仮勘定が43百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,203百万円増加しました。これは主に買掛金が8百万円減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,193百万円、その他に含まれる未払金が38百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は1,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,305百万円減少しました。これは主にリース債務が13百万円増加した一方、長期借入金が1,274百万円、長期未払金が33百万円減少したことなどによるものであります。この結果、負債合計は3,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は331百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益111百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、8.7%(前連結会計年度末は5.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。

なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	862, 662	692, 457
売掛金	342, 105	312, 081
商品及び製品	115, 235	115, 184
原材料及び貯蔵品	14, 330	18, 212
その他	103, 181	121, 579
貸倒引当金	△3, 102	△3, 937
流动資産合計	1, 434, 413	1, 255, 577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1, 117, 931	1, 174, 700
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	67, 967	96, 040
リース資産 (純額)	200, 900	229, 612
土地	364, 014	364, 014
建設仮勘定	25, 168	41, 751
有形固定資産合計	1, 775, 982	1, 906, 119
無形固定資産		
のれん	—	9, 257
ソフトウエア	44, 789	44, 249
ソフトウエア仮勘定	11, 020	54, 627
無形固定資産合計	55, 809	108, 134
投資その他の資産		
長期貸付金	2, 756	2, 146
敷金	465, 039	475, 543
繰延税金資産	16, 724	17, 232
その他	60, 440	55, 988
貸倒引当金	△12, 772	△12, 774
投資その他の資産合計	532, 188	538, 136
固定資産合計	2, 363, 980	2, 552, 390
資産合計	3, 798, 394	3, 807, 968
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	167, 072	158, 853
1年内返済予定の長期借入金	560, 941	1, 753, 985
リース債務	61, 567	79, 693
未払法人税等	7, 272	5, 358
賞与引当金	21, 198	19, 100
資産除去債務	7, 300	12, 379
その他	245, 704	245, 243
流动負債合計	1, 071, 055	2, 274, 613
固定負債		
長期借入金	1, 803, 809	529, 647
リース債務	169, 171	183, 037
長期未払金	92, 646	59, 634
資産除去債務	290, 506	285, 857
繰延税金負債	28, 907	23, 240
その他	122, 434	120, 508
固定負債合計	2, 507, 475	1, 201, 926
負債合計	3, 578, 530	3, 476, 539

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	236,430	236,430
利益剰余金	△23,939	87,625
自己株式	△92,627	△92,627
株主資本合計	219,863	331,428
純資産合計	219,863	331,428
負債純資産合計	3,798,394	3,807,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,361,092	4,356,665
売上原価	3,584,702	3,523,596
売上総利益	776,389	833,068
販売費及び一般管理費	659,235	700,508
営業利益	117,154	132,560
営業外収益		
受取利息	174	789
販売手数料収入	2,834	2,333
物品売却益	7,199	2,092
業務委託収入	2,456	—
受取保険金	6,577	1,045
受取損害賠償金	9,622	—
その他	910	249
営業外収益合計	29,775	6,510
営業外費用		
支払利息	30,003	33,784
商品廃棄損	6,738	—
その他	77	28
営業外費用合計	36,818	33,812
経常利益	110,111	105,258
特別利益		
固定資産売却益	615	10
受取立退料	—	73,812
その他	—	973
特別利益合計	615	74,796
特別損失		
固定資産除却損	570	8,539
店舗閉鎖損失	29,942	12,633
減損損失	6,168	47,250
その他	—	762
特別損失合計	36,681	69,187
税金等調整前中間純利益	74,045	110,867
法人税、住民税及び事業税	5,277	5,476
法人税等調整額	△1,169	△6,174
法人税等合計	4,107	△698
中間純利益	69,937	111,565
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	69,937	111,565

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	69,937	111,565
四半期包括利益	69,937	111,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,937	111,565
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エンターテインメン ト事業	システム 事業	不動産 事業	計		
売上高						
施設利用収入	2,261,273	—	—	2,261,273	—	2,261,273
外販収入	185,178	1,850,945	—	2,036,124	—	2,036,124
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約 から生じる収益	2,446,452	1,850,945	—	4,297,397	—	4,297,397
その他の収益	—	—	63,694	63,694	—	63,694
外部顧客への 売上高	2,446,452	1,850,945	63,694	4,361,092	—	4,361,092
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,063	—	3,063	△3,063	—
計	2,446,452	1,854,009	63,694	4,364,156	△3,063	4,361,092
セグメント利益	147,724	116,475	43,538	307,738	△190,584	117,154

(注) 1. セグメント利益の調整額△190,584千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、閉店が決まった店舗について減損損失を認識しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において減損損失6,168千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エンターテインメン ト事業	システム 事業	不動産 事業	計		
売上高						
施設利用収入	2,166,993	—	—	2,166,993	—	2,166,993
外販収入	182,768	1,943,643	—	2,126,411	—	2,126,411
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約 から生じる収益	2,349,761	1,943,643	—	4,293,405	—	4,293,405
その他の収益	—	—	63,260	63,260	—	63,260
外部顧客への 売上高	2,349,761	1,943,643	63,260	4,356,665	—	4,356,665
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,292	—	3,292	△3,292	—
計	2,349,761	1,946,935	63,260	4,359,957	△3,292	4,356,665
セグメント利益	196,532	135,953	40,032	372,518	△239,958	132,560

(注) 1. セグメント利益の調整額△239,958千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、閉店が決まった店舗について減損損失を認識しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において減損損失47,250千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、フランチャイジーが運営する自遊空間2店舗を承継したことにより、当第3四半期連結会計期間においてのれんが9,576千円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	141,667千円	175,213千円
のれんの償却額	一千円	319千円